

### CONTENTS

#### コンソーシアムからのお知らせ

- ・ 京都大学サマーデザインスクール2014及び産学デザインシンポジウムのご案内
- ・ デザインセミナーSeries1「サービスデザイン」のご案内
- ・ デザインフォーラムのご案内
- ・ デザイン・キャンプ(仮称)のご案内
- ・ 京都大学デザインイノベーション拠点の利用について

#### コンソーシアムの動き

- ・ デザインフォーラム開催報告
- ・ 推進委員会開催報告

#### フェロー紹介

- ・ 星野 泰漢 さん
- ・ 松本 毅 さん
- ・ 畑中 哲夫 さん
- ・ 木村 千恵子 さん
- ・ 大野 健彦 さん

#### 会員紹介

- ・ 西日本電信電話株式会社
- ・ オムロン株式会社

### コンソーシアムからのお知らせ

#### 京都大学サマーデザインスクール2014 及び 産学デザインシンポジウム のご案内

「京都大学サマーデザインスクール」は、3日間集中のデザイン・ワークショップです。2011年に第1回を開催し、好評を得て、今回で4回目の開催を迎えます。サマーデザインスクールでは、毎回、多様な分野から実施者と参加者を迎え、3日間にわたって熱い議論を交わしつつ社会の実問題に挑みます。

また、これに併せて、第三回産学デザインシンポジウムが開催されます。第一回(2013年1月)、第二回(2013年9月)に引き続き、産学連携の実績及び希望をお持ちの企業・公的機関の方にお集まり頂き、京大及び企業からの講演、さらにパネル討論を通して、新たな産学の枠組みとして大企業・ベンチャー・大学の有機的な協力関係を考えるとともに、デザイン型人材の育成とデザイン学の体系化を円滑に進めるための意見交換・議論を行います。

今回は、本コンソーシアムが設立されて初めてのサマーデザインスクール及び産学デザインシンポジウムとなります。御社内で広く情報提供頂き、サマーデザインスクールのご見学を兼ねて、多くの方々に産学デザインシンポジウムにご出席頂きますとともに、会員間及び京都大学デザイン学ユニットとの交流を深めて頂きますようお願い申し上げます。

#### 【京都大学サマーデザインスクール2014】

日程： 2014年9月24日(水)～26日(金)

場所： 京都リサーチパーク1号館1階アトリウム  
(京都市下京区中堂寺南町134)

参加費：無料(交流会 2-3,000円程度、キャンセルの場合は9/17(水)までをお願いします。)

#### 【第三回産学デザインシンポジウム】

(サマーデザインスクールの見学を含みます。)

日程：2014年9月25日(木)13:00～

場所：京都リサーチパーク1号館4階サイエンスホール

参加費：無料(懇親会 3,000円程度、キャンセルの場合は9/17(水)までをお願いします。)

### CONTACT

#### デザインイノベーションコンソーシアム

ニュースレター発行：

デザインイノベーションコンソーシアム推進委員会

事務局：

京都リサーチパーク(株)  
産学公連携部内

〒600-8813

京都市下京区中堂寺南町134

TEL 075-315-8522

FAX 075-322-5348

<http://designinnovation.jp>

E-Mail: [info@designinnovation.jp](mailto:info@designinnovation.jp)

本ニュースレターの配信登録・削除は以下からお願い致します。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/a54f7d5d58943>

## 産学デザインシンポジウム

プログラム（予定）：

13:00 開会

13:10-14:20 京都大学からの活動報告

「大地震に備えた都市・建築物の保全再生デザインの取り組み」

工学研究科建築学専攻 林康裕教授

「デザインを科学する～機械工学領域からのチャレンジ～（仮）」

工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 松原厚教授

「製品デザインから事業デザインへ」

経営管理大学院 若林靖永教授

14:20-15:00 ブレーク（サマーデザインスクール見学）

15:00-16:10 招待講演

「キャンパスづくりのプランニング&デザイン（仮）」

日建設計 設計部門 デザインパートナー 山口義雄氏

「クラウドソーシングが産み出す企業経営と個人の働き方のイノベーション」

クラウドワークス 代表取締役 吉田浩一郎氏

16:10-17:40 招待講演 & パネル

「文化経済大国を目指して」

西日本電信電話株式会社 相談役/デザインイノベーションコンソーシアム会長

大竹伸一氏

パネル「産学連携によるデザイン型人材の育成」

司会：工学研究科建築学専攻 門内輝行教授

18:00- 交流会（3,000円程度）

詳細及び申込：<https://business.form-mailer.jp/fms/25a2fa6334183> （8/29(金)締切）

問合せ先：産学デザインシンポジウム事務局

E-mail: sangaku-sympo3@designinnovation.jp

## 京都大学サマーデザインスクール2014

参加者募集テーマ及び実施者の方々は以下のとおりです。

コンソーシアム会員の皆様から多数のテーマを頂き、誠にありがとうございました、

○学び方のデザインー 盲点を見つけよう

サイボウズ・ラボ株式会社 西尾泰和氏他

○20年後の未来を支える初等教育環境のデザイン

パワープレイス株式会社 小山誠之氏他

○街角観察におけるICTサービスデザイン

NTTサービスエボリューション研究所 和合加愛氏、NTT西日本 越智通有氏他

○行為情報のデザイン

京都大学大学院情報学研究科 大島裕明特定准教授他

○社会的問題の理解と解決のためのゲームデザイン

京都大学大学院教育学研究科 楠見孝教授、

NTTサービスエボリューション研究所 大野健彦氏他

○Kickstart

株式会社東芝 星野泰漢氏他

○2050年の京都の交通をシミュレーションで予測する

京都大学大学院情報学研究科 石田亨教授他

○フィールドベースの不便益システムデザイン

京都大学デザイン学ユニット 川上浩司特定教授他

○理想の社会のための新しい受験システムをデザインする

株式会社博報堂 利根川公司氏他

○ペットと人の共生社会デザイン

株式会社博報堂 福嶋由美氏他

○御堂筋における街路を軸とした都市活性化デザイン

株式会社竹中工務店 畑中哲夫氏他

○イキイキとしたライフスタイルの支援デザイン

オムロン株式会社 中嶋宏氏他

- シェア時代のデザイン  
三菱電機株式会社 中野公輔氏他
- 商業施設におけるM2Mネットワークデザイン  
京都大学大学院情報学研究科 佐藤彰洋助教他
- 孤独死を楽しく防ぐ介護オーケストレーションのデザイン  
京都大学大学院情報学研究科 糸直人特定准教授他
- PLAYFUL空間大作戦：タッチ、アタッチ&デタッチ  
京都大学大学院工学研究科 松原厚教授他
- ハイスピードカメラを使って日本文化を表現し、プロジェクションマッピングする  
京都大学情報環境機構 土佐尚子教授他
- ハンディキャップをもった人が活躍できるサービス  
株式会社沖縄教育出版 川畑信介氏他
- コミュニケーションカフェのサービスデザイン -エクスペリエンスを超えて-  
東京大学人工物工学研究センター 辻邦浩氏他

詳細及び参加申込：<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/sds2014/>

(注) ・必ず3日間の参加が必要です。部分的な参加はできません。

- ・申込締切は9/10(水)となっていますが、昨年は満員となっており、本年は定員に達したテーマから募集を締め切らせて頂きますので、お早めにお申込み下さい。
- ・昨年の参加者は、京大生68名、他大学生15名、社会人28名でした。
- ・参加者としてではなく、見学のみご希望の方は、可能な限り、9月25日(木)午後開催の産学デザインシンポジウムの中で見学をお願い致します。別日程での見学をご希望の場合には、上記Webサイトの見学申込のページから申込みをお願い致します。

問合せ先： サマーデザインスクール 2014 事務局  
Email: sds-2014@designinnovation.jp

## デザインセミナーSeries1 「サービスデザイン」のご案内

2014. 9. 3 WED. ~ 9. 5 FRI.



by



前号でご案内致しましたデザインセミナー「サービスデザイン」の詳細が確定いたしました。「新聞で知ったが社内では通知が無かった」との問合せをいただいております。関係部署（特に人材育成、新規事業企画、モノ作りからサービスを含めたビジネスへの転換を検討されている部署）にご案内いただければ幸いです。この機会に広く本セミナーをご活用いただければ幸いです。

顧客の関心がモノ（プロダクト）からコト（体験）に移る中で、サービスデザインが今世界中の企業の注目を集めています。ここでのサービスとは顧客との接点を指し、製造業を含めた様々な業種で重要な事業的側面となっています。

本セミナーは、

- ・京都大学経営管理大学院に蓄積されたサービスデザインの専門的知識
- ・IDEOの design thinking のノウハウ
- ・博報堂の生活者発想による実践的なワークショップ

を融合させた、他では得られない深い理解と実用的なスキルを身につける3日間のコースです。

また、本セミナーには、サービス・ドミナント・ロジックの提唱者である S. L. Vargo 教授の講演会も予定しています。Vargo 教授の理論は、従来のグッズ・ドミナント・ロジックと決別し、モノではなくサービスを社会における交換の単位と捉える画期的なもので、マーケティングの新しい理論として注目されています。



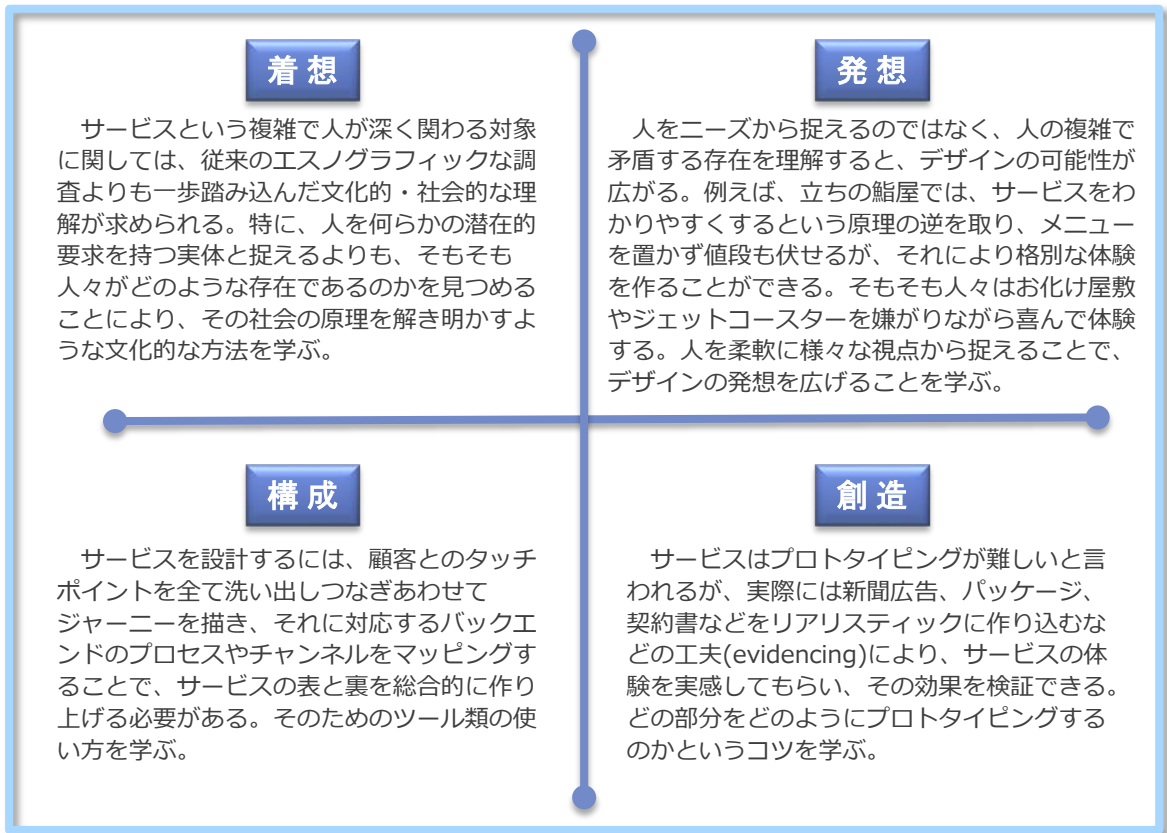
Dr. Stephen L. Vargo

Shidler Distinguished Professor and Professor of Marketing, University of Hawaii at Manoa

アメリカマーケティング協会よりマーケティング理論の発展に大きく貢献した業績をたたえる数々の賞を受賞

## 3日間で学ぶこと

- ✓サービスについての理論
- ✓サービスを理解するための観察手法
- ✓サービスデザインの方法論やツール
- ✓サービスをプロトタイプし検証する手法 etc..



## 成果の活用例

- ✓サービス業：顧客の視点から全てのサービスを捉え直し、サービスイノベーションを生み出す契機となる。
- ✓製造メーカー：プロダクトが利用される場面も含めたデザインにより、プロダクトの価値を劇的に高められる。
- ✓IT企業：顧客の価値全体を捉えるサービスデザインにより、新しいアプリケーションの可能性が開ける。

## 講師・ファシリテータ

### 原 良憲

京都大学経営管理大学院 教授

### 山内 裕

京都大学経営管理大学院 講師

### 鈴木 智子

京都大学経営管理大学院 特定講師

### 平本 毅

京都大学経営研究センター 特定助教

### 石川 俊祐

IDEO Senior Design Lead

### 田中 薫

IDEO Design Lead

### 岩寄 博論

株式会社博報堂 イノベーションラボ  
ストラテジックプランニングディレクター

### 板井 麻美子

株式会社博報堂 イノベーションラボ  
コンサルタント

## IDEO(アイディオ)

米シリコンバレーのパロアルトに本拠地を置き、世界中に10拠点を展開する、イノベーションとデザインのコンサルティング会社。米アップルのマッキントッシュに付属した初代マウスをデザインしたことで知られているが、近年はハードからソフトのデザインへとその領域を広げている。デザイン・シンキングを用いて、民間から公共まで幅広いクライアントのイノベーションを行っている。



## 博報堂イノベーションラボ

生活者発想で、単なる消費者としてではなく、「生活する主体」という意味で人間を捉え、その意識と行動を研究している。価値観の変遷を時系列調査で追跡する、実験的な手法から未来への兆しを見出す、生活の現場へ飛び込み生活者と一緒に考える…など、生活者に対する多角的かつユニークな視点を持つ。



## 詳細・申込み

<http://designinnovation.jp/program/designseminars/ds01.html>

## デザインフォーラム ビジネスデザインシリーズのご案内

「ビジネスデザインシリーズ」第2回は以下の通り開催を予定しています。ご期待下さい。

日程：2014年10月23日（木）17時30分～ 19時頃～懇話会

場所：京都大学デザインイノベーション拠点（京都リサーチパーク9号館5階）

テーマ：ユビキタス社会の要、端末ディスプレイの世界展開はいかにして成し得たか  
ー開発、事業化、グローバルビジネスを振り返るー（仮題）

講師：村松 哲郎（大阪大学産業科学研究所特任教授、元シャープ（株）執行役員本部長）

概要：人々は、何時でもどこでも情報端末を使いこなし、グローバルにコミュニケーションできる時代の中にいる。それを可能にした重要要素は、中小型(モバイル)液晶ディスプレイの進展である。さて、モバイル液晶はいかにして世界市場に広められたのか。

講演者らは、21世紀の幕開けにあたり、次代を大胆に予測し、ユビキタス社会は益々進化し、人々の生活を主導するという仮説をたて、「繋ぎたい、繋がる。液晶は心の窓」とするビジョンを描いた。そのビジョン実現にあたり、様々な観点から施策を練った。

・ライフラインからエンターテインメントまで、携帯電話/携帯端末の普及の波に乗せるにはどうするか、普及活動・拡販・ビジネス戦略。

・国、地域の文化や歴史の差、国民性を知り、必要な機能を抽出。果たしてそれは実現できるのか、足りないものは何か、どう補充するか、その精査と新規技術戦略。

・次に、市場規模推移、然るべき価格トレンドの予測。それに基づく、必要な生産規模と製造コストの試算。そして、これらを管理・運営・実践できる営業、開発、設計、調達、生産、配荷、品質サポート体制など、バリューチェーンの構築と実行。

これらの過程で直面した課題、そしてそれを如何に乗り越えながらビジネスに仕立て上げたか、順風と逆風の中で中核として活動してきた講演者の生の声をお届けします。

講演者の実体験をもとに「これからのユビキタス社会」、ビジネス最前線で活躍する「真のグローバル人材」の要件などについて議論しましょう。

参加費： 無料（終了後、懇話会が開催される場合には、懇話会費実費）

申込方法： announce mailにより追ってお知らせ致します。

## デザイン・キャンプ(仮称)のご案内

「デザイン・キャンプ」(仮称)は、業種横断で共通の課題解決に向けて取り組む3日間のイノベーションワークです。オープンな参加型デザインで、企業提案の実社会の問題の解決やイノベーションについて真剣に向き合います。

様々な業種の様々なバックグラウンドを有するビジネス人財による取組みにより、個社で得られなかった視点や発想に触れることができます。得られた成果は、各社に持ち帰り、事業への応用が期待されます。また、参加者のネットワークは今後の協業スキームへの発展が期待されます。

以下の通り開催を予定しておりますので、ご参加をご検討頂きますよう、お願い申し上げます。

日程： 2014年11月4日(火)～6日(木)

場所： 京都大学東京オフィス 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階

テーマ： 「自分が住みたくなる街をCo-Designする」

テーマ提供（リードカンパニー）： 日本電信電話株式会社、ダイキン工業株式会社

概要：あなたはどんな街に住みたいですか？～都会への一極集中から地方における魅力的な街創りへの転換の重要性が叫ばれています。それではいったい、魅力的な街とはどのような街のことでしょうか。それぞれの家が快適で住みやすいのはもちろん、家を取り巻く社会や環境のあり方も重要となってきます。そこには便利、快適、安心、安全、コミュニティ、省エネルギー、公共機関の充実など、様々なキーワードが考えられます。また、ICTを活用したスマートタウン、様々な行政や商業施設が集中するコンパクトシティなどの新しい概念も提案されています。本デザインキャンプでは、誰もが5分で歩ける、300m四方の生活空間に着目し、そこに住む人の視点から、自分が本当に住みたくなる10年後の街のあり方を参加者全員で考えていきます。様々な企業の人々が、それぞれの立場から多様なアイデアを出し合うことで、ブレークスルーを生み出すことを目指します。

## ■リードカンパニーからのメッセージ(1)

NTTサービスエボリューション研究所 主幹研究員 大野 健彦 さん

NTTは、安全性が高く、高速で、安定したネットワークの提供を目指してこれまで研究開発を行なってきました。今や自宅やオフィスには光のブロードバンドネットワークが張り巡らされ、屋外ではLTEに対応したスマートフォンや携帯電話を通じて、様々な情報にアクセスし、多様なサービスを利用できる世界が実現しました。その結果、10年前には想像できなかった多様なICTサービスが登場し、我々の日々の生活を楽しく便利にしています。一方で、我々の前には、まだまだ考えるべき様々な社会課題が山積しています。

NTTはこれらの社会課題を見据え、人々がさらに豊かで楽しい生活を送れるようになるための、人間中心のICTのあり方について研究開発を行っています。そして、ICTを活用してどのようなサービスを提供すれば、よりよい日常生活が送れるかについて考えています。ICTの力は、人やモノを相互につなぎ、そこから新たな価値を創造することです。本デザイン・キャンプでは、300m四方という空間において、そこに住む人や、そこにある住宅、モノ、様々なインフラなどがどのように結合され、そこからどのような価値が創造されることで、自分たちが豊かで楽しく暮らせるかを、皆さまで一緒に考えていきたいと思えます。

## ■リードカンパニーからのメッセージ(2)

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター設立準備室  
イノベーション企画担当課長 小沢 智 さん

ダイキン工業が提供したい快適空間は、家・オフィスにとどまらない生活空間全体ですが、その中でも、高齢者が増えていく街中、気軽に徒歩で出かけられる300m四方の生活空間の品質が健康寿命を左右します。どんなモノ・コトがあれば安心してストレス無く出かけられるでしょうか？暑い日には風の回廊や夕涼み長屋？...寒い日にはホット遊歩道やエアたき火...などはいかがですか？身近な生活空間内で熱エネルギーの地産地消ができれば様々な仕掛けが出来るそうです。この300m四方の身近生活空間ユニットをいかに暮らしやすく出来るか、是非いろいろな業種の方々と協創して、このユニットを世界中の街作りのキープロックにしましょう。

■参加費(予定)： 正会員A・特別会員 165,000円(税込)  
正会員B・非会員 300,000円(税込)

■主催： デザインイノベーションコンソーシアム

■詳細及び申込方法： announce mailにより追ってお知らせ致します。

## 京都大学デザインイノベーション拠点の利用について

京都大学デザイン学大学院連携プログラムでは、産学連携、国際連携、大学間連携による教育の推進を目的として、京都リサーチパーク(KRP)内に「京都大学デザインイノベーション拠点」を開設しています。拠点は、吉田・桂キャンパスの中間に位置し、京都駅からの便も良い立地です。KRPには独自の技術を持つベンチャー企業など340社が集積し、産学連携を推進する場としても理想的な環境となっております。

この度、京都大学デザインイノベーション拠点の共用スペースの一部を、コンソーシアムの会員の皆様にもご利用いただけることとなりました。この機会に是非ご活用ください。(試行期間中の利用料金は実質無料です。なお、使用目的は、デザイン学大学院連携プログラムに関わる活動に限られます。)

ご利用の際は、<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/reservation/krp.php>  
で空き状況の確認及びご予約の上、使用申込書の送付をお願い致します。

- 予約できるスペース
  - ・ 会議室 約40 m<sup>2</sup>
  - ・ セミナールスペース(講演スペース) 約70 m<sup>2</sup>
  - ・ フレキシブルスペース 約180 m<sup>2</sup>

- 使用可能時間  
平日9:00~17:00



## コンソーシアムの動き

### デザインフォーラム開催報告

7月12日（土）に、京都大学デザインファブリケーション拠点においてデザインフォーラム（ワークショップデザイン・シリーズ）が開催されました。当日は、グラフィックファシリテーターのやまざきゆにこ氏に「絵筆が教えてくれるワークショップ成功の秘訣」と題して講演頂き、過去、ファシリテートしてきた300超のワークショップの分析をもとに、いいワークショップ・ダメなワークショップの違いを忌憚なくご紹介いただきました。



### 推進委員会開催報告

7月11日（金）に、コンソーシアム推進委員会が開催されました。当日は、本コンソーシアムの活動方針、特にデザインセミナー、デザイン・キャンプについて、活発な意見交換が行われました。また、予備費のうち、200万円をデザインセミナー等開催に伴うリスク対応経費に使用することが決定されました。



## デザインイノベーション拠点フェロー紹介

正会員Aの組織は、京都大学デザインイノベーション拠点において、京都大学デザイン学と共に活動を行うデザインイノベーション拠点フェローを1名推薦することができます。

今回、5名の推薦があり、6月16日付けで京都大学学際融合教育研究推進センターから委嘱されましたので、ご紹介いたします。

### 星野 泰漢 さん

現職：株式会社東芝  
デザインセンターデザイン第一部コミュニティ担当



大学・大学院では機械工学を専門としつつ、デザイナーのための発想支援に関する研究を行っていました。現在、(株)東芝でデザイナーとして製品やコンセプト、コミュニケーションなど様々な分野のデザインに取り組んでいます。

京都大学の膨大な知に触れ自分自身刺激を受けつつ、企業との多角的な連携により社会を変えるようなビジネスの芽を生み出したいと思っています。

従来のデザインの枠にとらわれない、挑戦的なことに取り組みたいと思っています。宜しくお願い致します。

2010年 京都大学工学部物理工学科卒業

2012年 東京大学工学系研究科機械工学専攻卒業

2012年より(株)東芝 デザインセンター勤務

## 松本 毅 さん

現職：大阪ガス株式会社  
技術戦略部 オープン・イノベーション室長



研究開発、研究企画、技術開発国家プロジェクト、全社技術戦略の企画立案等を担当した後、MOT（技術経営）スクールを設立して教育事業を立ち上げました。現在は、先駆的な取組によるオープン・イノベーションを推進しています。また、大阪大学大学院招聘教授、大阪工業大学工学部客員教授を兼任しています。

オープン・イノベーションを核としたイノベーション・プログラムと、スーパープロデューサーを中心としたドリームチームによるグローバル・ネットワークの構築により、グローバルビジネスのスタートアップを目指すすべての人が注目し、そこにアクセスすれば必要な技術やパートナーを発見し、事業化までの様々な支援が受けられるような、世界が注目する、世界に類を見ない、グローバルビジネス創発のためのフルライン・イノベーション・プログラムを持つ「グローバルオープン・イノベーション・プラットフォーム」の構築を目指したいと考えています。

オープン・イノベーションを核としたイノベーション・プログラムと、スーパープロデューサーを中心としたドリームチームによるグローバル・ネットワークの構築により、グローバルビジネスのスタートアップを目指すすべての人が注目し、そこにアクセスすれば必要な技術やパートナーを発見し、事業化までの様々な支援が受けられるような、世界が注目する、世界に類を見ない、グローバルビジネス創発のためのフルライン・イノベーション・プログラムを持つ「グローバルオープン・イノベーション・プラットフォーム」の構築を目指したいと考えています。

## 畑中 哲夫 さん

現職：株式会社竹中工務店  
大阪本店 設計部 情報・事務部長



建築設計者として実務に約20年携わった後、現在は、ICTを用いた建築設計業務の改革の試行および推進にかかわっています。建築プロジェクトでは、土地所有者、建物発注者、施設運営者、利用者、地域住民、行政、施工者など多くの人が関わります。用途、規模、スケジュール、コスト、法規制などの与条件を引き出して客観化し、それらの「想い」を建築デザインとして構築することで「かたち」として実現させるのが建築設計者の役割です。

まちや建築のあり方が多様化する中で、人々が安全安心で豊かに暮らせるために、求められる機能は高度化、複雑化しています。環境への配慮はもちろん、健康で快適な空間づくり、幸せや喜び、育みといった「人への優しさ」という視点も重要になってきています。異なる分野に学ぶ学生、専門家との協働により、多方面からまちや建築が求める新たな価値や魅力を創出するデザイン方法論の構築と実践を目指して行きたいと考えています。

## 木村 千恵子 さん

現職：京都市サーチパーク株式会社  
産学公連携部長



会社では産学官連携の業務を担当し、大学、外部機関と強固な連携をはかりながら、幅広い分野で新産業創出の土壌作りを目指したプラットフォーム活動や大学のナレッジを活用したベンチャー創出の活動を展開しています。政府機関においては、地域クラスター政策など産学官連携の政策やプロジェクトの審査にかかわる審議会委員等を務めています。デザインイノベーションコンソーシアムは、日本の新たな産学連携モデルとして、デザインスクールと産業界をつなぐ中間組織体を志向していますが、大学院での研究テーマでもある日本の大学風土、企業文化、また個人の価値観により醸成された産学連携のあり方を今どのように政策デザインできるか、試行的に実践しながら理論化、論文化を目指したいと思っています。今後、本コンソーシアムから、様々な政策提言が発信されるような活動が興ることを期待しています。大阪市立大学大学院 創造都市研究科 博士（創造都市）。

会社では産学官連携の業務を担当し、大学、外部機関と強固な連携をはかりながら、幅広い分野で新産業創出の土壌作りを目指したプラットフォーム活動や大学のナレッジを活用したベンチャー創出の活動を展開しています。政府機関においては、地域クラスター政策など産学官連携の政策やプロジェクトの審査にかかわる審議会委員等を務めています。デザインイノベーションコンソーシアムは、日本の新たな産学連携モデルとして、デザインスクールと産業界をつなぐ中間組織体を志向していますが、大学院での研究テーマでもある日本の大学風土、企業文化、また個人の価値観により醸成された産学連携のあり方を今どのように政策デザインできるか、試行的に実践しながら理論化、論文化を目指したいと思っています。今後、本コンソーシアムから、様々な政策提言が発信されるような活動が興ることを期待しています。大阪市立大学大学院 創造都市研究科 博士（創造都市）。

## 大野 健彦 さん

現職：日本電信電話株式会社  
サービスエボリューション研究所 主幹研究員



私はもともと、認知心理学やヒューマンコンピュータインタラクションの研究に取り組んでいましたが、それだけでは世の中はなかなか変わらないというもどかしさを感じるようになりました。そこでデザインを研究対象とするとともに、日々の業務で実践し、またNTTグループの様々な人と関わることで、ICTの利点を活用した、人が便利で楽しくなるサービスを世の中に出していくことに取り組んでいます。その過程では多くのユーザと関わり合い、ユーザと技術者の想いには大きなギャップがあることも実感しました。使う人を深く理解することで、そのギャップを埋めていくことも重要です。デザインイノベーションコンソーシアムでは大学や企業の様々な人とコラボレーションを行うことで、人々が思わず使ってみたくなる、そして使った人がhappyになる、そのようなサービスを皆さんと創り出していきたいと考えています。素晴らしいアイデアを創り出していきたいです。

私はもともと、認知心理学やヒューマンコンピュータインタラクションの研究に取り組んでいましたが、それだけでは世の中はなかなか変わらないというもどかしさを感じるようになりました。そこでデザインを研究対象とするとともに、日々の業務で実践し、またNTTグループの様々な人と関わることで、ICTの利点を活用した、人が便利で楽しくなるサービスを世の中に出していくことに取り組んでいます。その過程では多くのユーザと関わり合い、ユーザと技術者の想いには大きなギャップがあることも実感しました。使う人を深く理解することで、そのギャップを埋めていくことも重要です。デザインイノベーションコンソーシアムでは大学や企業の様々な人とコラボレーションを行うことで、人々が思わず使ってみたくなる、そして使った人がhappyになる、そのようなサービスを皆さんと創り出していきたいと考えています。素晴らしいアイデアを創り出していきたいです。



## 会員紹介

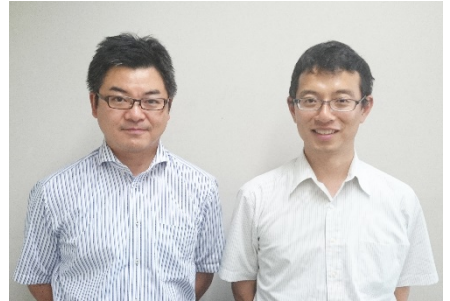
### 西日本電信電話株式会社

NTT西日本では、「光サービスによる新しい文化を創造」を目指し、「便利で楽しい新たなライフスタイルを創造する『スマート光ライフ』」、「快適なビジネス環境と新たな可能性を発見する『スマート光ビジネス』」、「これからもずっと住み続けたい未来型の街づくりを行う『スマート光タウン』」を柱にした『スマート光戦略』を推進しています。

この戦略を実現するためには、世の中にある素晴らしい技術やノウハウ、ネットワークを持つパートナーとの『アライアンス』により、新しい文化、新しいライフスタイルに寄与するサービスのモデルを『デザイン』し、実現していくことが重要となります。

例えば、商業分野においては、Wi-Fiを活用した「ショッピングモールや商店街の活性化に貢献するサービス」や、地元スーパーとの協業により自宅で買い物ができる「光BOX+」を活用した「ネットスーパー」も各地で提供しています。また、行政分野では、自治体と連携し、高齢の方向けに「光BOX+」の見守り機能等を活用して生活をサポートする「見守り・生活支援サービス」や、「介護予防のトライアル」等を実施することで、地域の活性化にも貢献しています。この他、音楽分野では、遠隔地で遅延なく演奏ができる仕組みを用いて、アイドルのデビューイベントの技術協力や、楽器メーカーと協業した遠隔音楽教室の展開を検討するなど、様々な分野において光サービスを活用したビジネスアライアンスを矢継ぎ早に展開しており、今後もこうした取り組みをより一層加速させていきます。

デザインイノベーションコンソーシアムでは、参加する大学・企業とのディスカッションを通じて、NTT西日本の取り組みをより効果的に推進することに資する知見を得るとともに、参加大学・企業とのネットワークを強化し、新たなアライアンスビジネスの展開を目指していきたいと考えています。



技術革新部越智通有課長とビジネスデザイン部森田哲之課長

### オムロン株式会社

私たちオムロンは、センシング&コントロール技術をコア技術に、制御機器・電子部品事業、車載電装部品事業、社会システム事業、健康事業、環境事業などを通じ、グローバルに事業を展開しています。

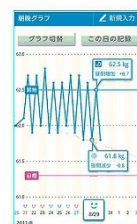
オムロンは、自社の企業理念の中で「企業は社会の公器である」と掲げています。これはオムロンが社会の発展と共に成長し続けるという「社会との共生」を謳ったものです。その実現のために、社員一人ひとりが、グローバルに潜在するソーシャルニーズをいち早く感知し、商品やサービスを創造することを通じて社会の持続的発展に貢献し続けています。

ソーシャルニーズと科学と技術は、人類の進歩への意欲が原動力となり相互に刺激し合って進歩しています。科学と技術を社会に役立てるには、科学と技術をいかにして社会に実装するかを考える必要があります。そのために必要な知見を大学での教育に取り入れることが望ましく、京都大学デザインスクールはその趣旨に合致したカリキュラムを備えています。一方それは、大学のみで実現できる教育ではなく、産業界の協力が不可欠であり、そのバックアップ母体としてコンソーシアムの役割は大変重要であります。

オムロンは、京都大学デザインスクールのテーマ提案、セミナー、シンポジウムなどに参画することで、京都大学デザイン学大学院連携プログラムの充実に貢献していきたいと考えています。



(後列左から) 技術専門職 中嶋 宏 氏、  
技術・知財本部長 荒尾 真樹 氏、技術専門職 諏訪 正樹 氏  
(前列左から)  
デザインセミナー参加者 河合 直浩 氏、齋藤 真由美 氏



「ヘルスケア商品」